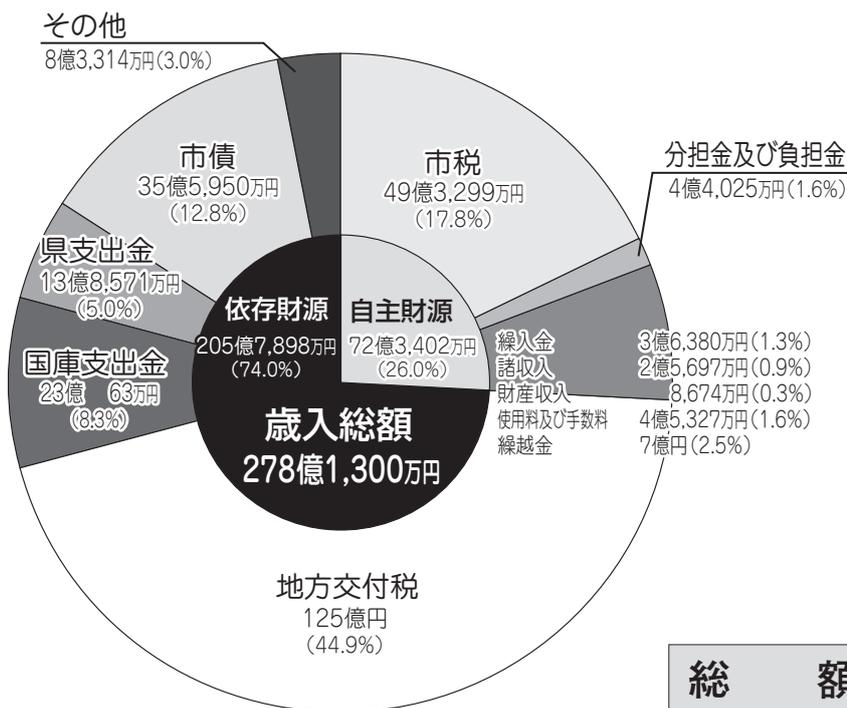
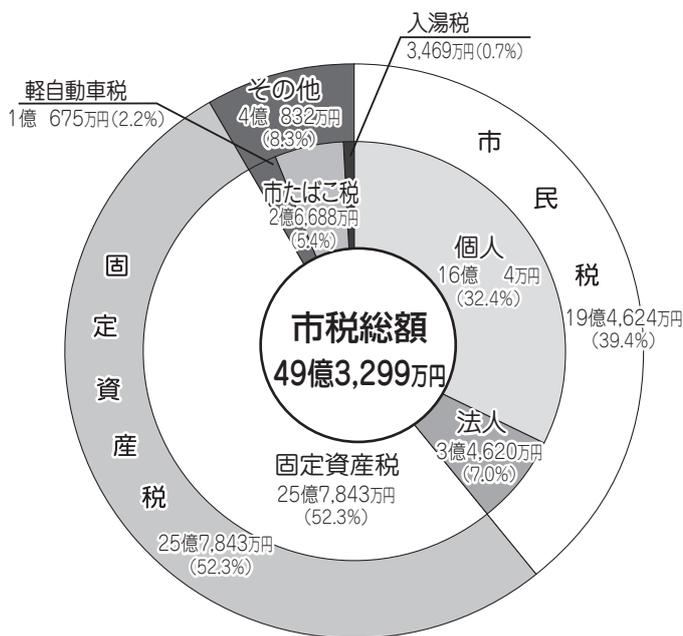


当初予算

歳入の内訳



市税の内訳



総額	480億5,544万円
一般会計	278億1,300万円
特別会計	150億5,198万円
企業会計	51億9,046万円

～15ヵ月予算～

平成24年度の3月補正予算4億2,805万円（緊急経済対策分）と平成25年度の一般会計当初予算を合わせた、いわゆる「15ヵ月予算」は、282億4,105万円となり、切れ目のない経済対策を実施します。

- 次の七つを柱とした予算編成**
- 産業・雇用（地域資源や高速交通網の優位性を活かして産業を育てるまち）
 - 環境・防災・社会基盤（美しい水と緑を守り、暮らしの基盤が整う共生のまち）
 - 健康・福祉（支えあい助け合う安心のまち）
 - 教育・文化・人づくり（香り高い地域文化と心豊かな人を育むまち）
 - 自治・まちづくり（市民と行政の協働により自律するまち）
 - 地域振興（個性あふれる地域づくりを推進するまち）
 - 行財政改革（身の丈に合った行財政体制の確立）

郡上市の平成25年度予算の総額は、約481億円。そのうち福祉、医療、教育や道路整備など、みなさんにとって基礎的な行政サービスを行う一般会計が約278億円となっています。平成24年度の実質的な当初予算である肉付け（4月補正予算）後予算に比べて、一般会計で0.6%の減となっています。

一般会計の歳入のうち、市税は49億3,299万円（前年度肉付け予算後比1.2%増）、国庫支出金は、地域経済活性化・雇用創出臨時交付金の創設などにより23億63万円（同18.2%増）、地方交付税は基準財政収入額の増加などにより125億円（同3.8%減）を見込んでいます。市債は、中学校の校舎等整備事業をはじめとした投資的事業の増により、35億5,950万円（同0.8%増）となっています。

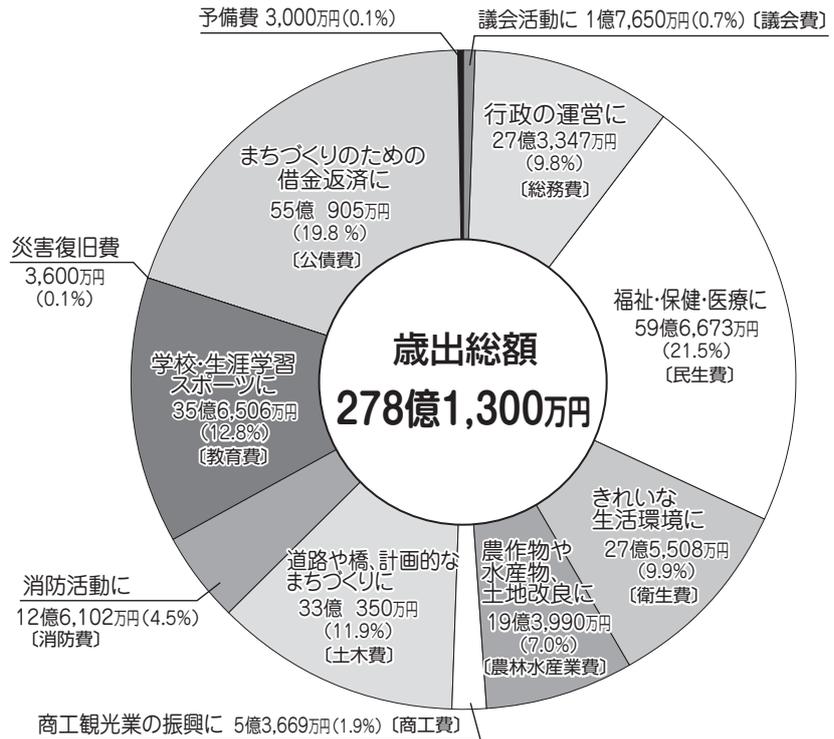
また、今年度は財源不足を補うための財政調整基金からの繰り入れは計上していませんが、林業・林産業振興特別対策事業の財源とするため、産業振興基金から2億4,194万円を繰り入れることとしています。

市税収入などの自主財源は、72億3,402万円が全体の26.0%しかなく、地方交付税や国

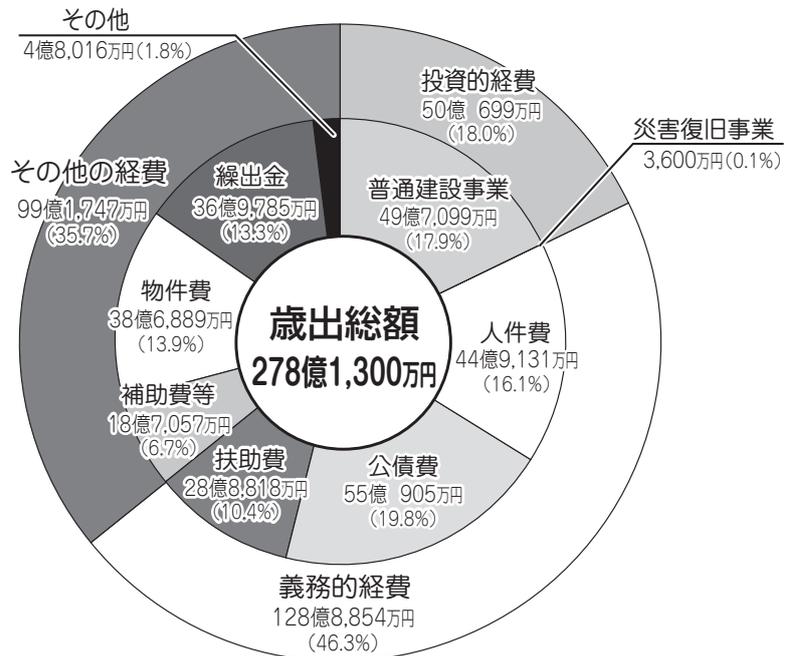
～用語解説～

- 市税…市民のみなさんから納めていただく市民税や固定資産税など
- 繰越金…前年度から繰り越されたお金
- 繰入金…基金（特定の目的のために積み立てられる資金または財産）などから取り崩して、一般会計へ繰り入れるお金
- 分担金および負担金…福祉事業や土木事業などに対する負担金
- 使用料及び手数料…住民票などの発行手数料や市営住宅などの使用料など
- 市債…道路や学校などの公共施設を整備するために借り入れるお金（借入金）
- 地方交付税…国税の定率分を、市の財政状況に応じた一定の基準により、国が交付するお金
- 国、県支出金…国、県の施策に沿った特定の事業を行う場合などの財源として交付されるお金
- 人件費…職員、議員などに支払われる給与や報酬など
- 公債費…主に事業を行うために借り入れたお金（市債）の元利償還金
- 扶助費…児童や老人などの生活支援、生活保護などに使われる費用
- 普通建設事業費…道路や学校など、公共、公用施設の建設や整備にかかる費用
- 物件費…公共、公用施設の維持管理や旅費、交際費、需要費、備品の購入に充てられる費用
- 繰出金…一般会計から特別会計へ支出される経費

一般会計の主な使いみち



性質別の使いみち



県支出金などの依存財源の占める割合が大きなものとなっております。

歳出については、少子化対策や高齢者などに対する福祉医療や保健に使われる民生費が59億6,673万円（同2.6%増）、道路整備など市民生活に密接する土木費が33億350万円（同11.0%増）、学校建設や学校教育、社会教育に使われる教育費が35億6,506万円（同16.7%増）であり、大きな割合を占めています。また、まちづくりの借入金返済にあたる公債費は55億905万円（同4.2%減）となり、歳出全体の19.8%となっています。

性質別では、人件費と公債費、扶助費を合わせた義務的経費（同1.7%減）は46.3%と大きな割合を占め、普通建設事業などの投資的経費（同5.9%増）は、18.0%となっています。また、一般会計から特別会計へ支出される繰出金（同4.2%減）の割合も13.3%と大きくなっています。

今後大変厳しい状況が続くと思われ、引き続き職員定数の適正化と公共施設の見直しなどを進め、財政の健全化を最重要課題として、行政改革に取り組んで行く必要があります。

全会計における市債・公債費・市債残高の推移

(収入)

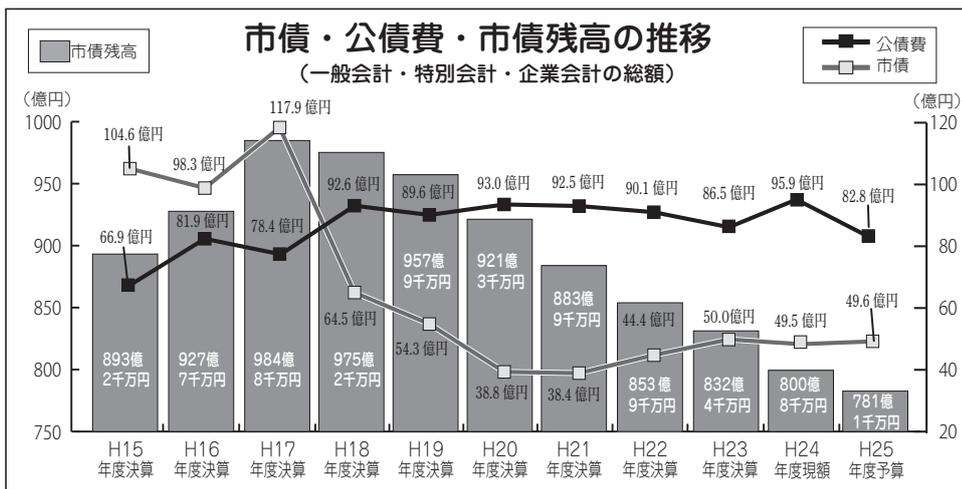
(支出)

(ストック)

ここでは、市が道路や学校などの公共施設を整備するために借り入れるお金（市債）、借り入れたお金の返済金（公債費）、借金の残高（市債残高）について、平成15年度末の合併時から平成25年度（予算）までの間に、どのように推移してきたのかを表とグラフを使って説明します。

▼市債（借入金）の推移…合併時の104億6千万円から比較すると、今年度の当初予算では半分以下の49億6千万円となっています。市の厳しい財政状況から、今後も新たに借り入れるお金を減らしていく取り組みを継続します。（平成16年度から平成17年度にかけて増えているのは、市民病院建設等により一時的に増加したためです）

▼公債費（返済金）の推移…平成20年度の93億円をピークに、今年度の当初予算では82億8千万円となっています。なお、平成24年度は約10億円の繰上償還を行ったため、公債費が増加しました。今後も大きな変動はありませんが、徐々に減額となる見込みです。



▼市債残高（借入金残高）…合併時から平成17年度までは増加し、最大で984億8千万円でした。新年度における残高見込みは781億1千万円となりますので、8年でピーク時の20.7%を減額しました。今後も借金残高を減らす努力を継続します。

一般会計

単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
市債	70.8	68.7	58.5	46.3	38.4	31.5	33.4	38.7	42.3	36.7	35.6
公債費	52.1	59.8	55.1	58.1	61.5	60.9	59.3	62.0	58.2	67.3	55.1
うち元金分	42.6	50.3	46.2	49.1	52.6	52.4	51.3	54.5	51.1	60.1	48.9
うち利子分	9.5	9.6	9.0	9.1	9.0	8.5	8.0	7.5	7.1	7.2	6.2
市債残高	507.6	526.1	538.4	535.6	526.3	505.4	487.5	471.7	462.9	439.5	426.1

特別会計

単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
市債	25.2	18.6	14.8	14.3	15.4	6.9	4.8	5.7	6.9	11.0	11.2
公債費	10.9	17.4	19.1	22.0	23.2	27.3	28.1	22.6	22.4	22.8	21.4
うち元金分	8.7	10.7	12.2	15.0	16.3	20.4	21.6	16.6	16.6	17.2	16.0
うち利子分	2.2	6.7	7.0	7.0	6.9	6.9	6.5	6.0	5.8	5.6	5.4
市債残高	326.6	334.5	337.2	336.4	334.2	320.7	303.8	292.9	283.3	277.1	272.3

企業会計

単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
市債	8.6	11.1	44.6	3.9	0.5	0.4	0.2	0.0	0.8	1.8	2.8
公債費	3.9	4.6	4.1	12.5	4.9	4.8	5.1	5.5	5.9	5.8	6.3
うち元金分	2.3	2.9	2.5	10.0	2.6	2.5	2.9	3.4	3.8	3.8	4.4
うち利子分	1.6	1.7	1.6	2.4	2.3	2.2	2.2	2.1	2.1	2.0	1.9
市債残高	59.0	67.1	109.2	103.2	97.5	95.2	92.6	89.2	86.2	84.2	82.6

合計

単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
市債	104.6	98.3	117.9	64.5	54.3	38.8	38.4	44.4	50.0	49.5	49.6
公債費	66.9	81.9	78.4	92.6	89.6	93.0	92.5	90.1	86.5	95.9	82.8
うち元金分	53.6	63.9	60.8	74.1	71.5	75.4	75.8	74.5	71.5	81.1	69.3
うち利子分	13.3	18.0	17.6	18.5	18.2	17.6	16.7	15.6	15.0	14.8	13.5
市債残高	893.2	927.7	984.8	975.2	957.9	921.3	883.9	853.9	832.4	800.8	781.1

※市債、公債費、市債残高の平成23年度以前は決算の数値です。

予算現額 当初予算

※数値は四捨五入により、合計額と合わない場合があります。

※平成24年度、25年度の数字は、今後の決算や補正予算によって変わることがあります。

平成 25 年度

予 算

全会計一覽

会 計		平成25年度予算額	平成24年度 肉付け後予算額	増減率 (%)	予算の内容
一 般 会 計		278億1,300万円	279億6,842万円	▲0.6	基礎的な行政サービスに
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	50億6,863万円	51億 446万円	▲0.7	国民健康保険の運営に
	国民健康保険特別会計 (直営診療施設勘定)	4 億9,691万円	4 億9,445万円	0.5	高鷲・和良歯科・和良診療所の 運営に
	簡易水道事業特別会計	14億8,915万円	12億 780万円	23.3	簡易水道の供給や工事に
	下水道事業特別会計	24億1,263万円	28億2,118万円	▲14.5	下水処理や下水道工事に
	介護保険特別会計	38億2,536万円	37億6,589万円	1.6	介護保険の運営に
	介護サービス事業特別会計	7 億2,259万円	7 億2,000万円	0.4	郡上偕楽園特別養護施設の運 営と白鳥病院などで行う介護 サービスの運営に
	ケーブルテレビ事業 特別会計	2 億5,055万円	8 億3,906万円	▲70.1	郡上ケーブルテレビの施設整 備に（指定管理者への移行等 による減）
	駐車場事業特別会計	387万円	420万円	▲7.9	市営駐車場の管理運営に
	宅地開発特別会計	1,802万円	4,247万円	▲57.6	分譲地の販売及び経費に
	青少年育英奨学資金貸付 特別会計	5,136万円	1,222万円	320.3	就学の支援に
	鉄道経営対策事業基金 特別会計	1,192万円	1,192万円	0.0	長良川鉄道の基金利息
	後期高齢者医療特別会計	5 億4,467万円	5 億3,355万円	2.1	高齢者の医療のために
	大和財産区特別会計	1,615万円	1,741万円	▲7.2	財産区有林の育成に
	白鳥財産区特別会計	444万円	434万円	2.3	財産区有林の育成に
	牛道財産区特別会計	1,425万円	1,675万円	▲14.9	財産区有林の育成に
	北濃財産区特別会計	668万円	507万円	31.8	財産区有林の育成に
	石徹白財産区特別会計	3,281万円	2,748万円	19.4	財産区有林の育成に
	高鷲財産区特別会計	2,711万円	2,627万円	3.2	財産区有林の育成に
	下川財産区特別会計	666万円	655万円	1.7	財産区有林の育成に
明宝財産区特別会計	2,284万円	2,351万円	▲2.8	財産区有林の育成に	
和良財産区特別会計	2,538万円	2,234万円	13.6	財産区有林の育成に	
特別会計 計		150億5,198万円	157億 692万円	▲4.2	
企 業 会 計	水道事業会計 (収益) (資本)	2 億5,380万円	2 億8,959万円	▲12.4	上水道の供給や上水道工事に
		1 億1,822万円	1 億2,238万円	▲3.4	
	病院事業等会計 (収益) (資本)	40億8,729万円	40億7,039万円	0.4	市民病院、白鳥病院の運営に
		7 億3,115万円	5 億4,207万円	34.9	
企業会計 計		51億9,046万円	50億2,443万円	3.3	
総 額		480億5,544万円	486億9,977万円	▲1.3	

放課後児童健全育成事業…………… (1,037万円)
 新生児聴覚検査支援事業…………… (96万円)
 特定不妊治療費助成事業…………… (200万円)
 妊婦健診…………… (3,447万円)

(ロ) 心身とも健やかな暮らしの実現をめざします

自殺予防対策事業…………… (301万円)
 予防接種事業…………… (1億804万円)
 基本健診…………… (1,024万円)
 がん検診…………… (7,485万円)

(ハ) 自立を支援できる総合福祉をめざします

高齢者地域支えあい体制づくり事業…………… (116万円)
 介護ヘルパー育成事業…………… (45万円)
 障がい福祉施設整備助成事業…………… (750万円)
 自立支援給付介護支援事業…………… (5億3,154万円)
 自立支援給付訓練等給付事業…………… (1億6,571万円)
 重度心身障害者医療費助成事業…………… (2億6,644万円)
 生活保護扶助経費…………… (2億2,900万円)
 社会福祉協議会活動事業…………… (4,523万円)

4. 教育・文化・人づくり(香り高い地域文化と心豊かな人を育むまち)

(イ) 「確かな学力」と「豊かな心」を育てる教育活動と教育環境を充実します

地域の未来をつなぐICT活用推進事業…………… (350万円)
 就学資金利子補給事業…………… (180万円)
 中学校校舎等整備事業(大和中など)
 ……………… (9億2,167万円)
 中学校耐震補強事業(八幡中など)…………… (4億2,752万円)
 小学校耐震補強事業…………… (2,051万円)
 郡上学一小学生体験活動推進事業…………… (71万円)
 郡上学一中学生体験活動推進事業…………… (279万円)

(ロ) 市民が地域文化に触れる機会を広げます

伝建制度推進事業…………… (799万円)
 伝建修理・修景事業…………… (2,000万円)
 郡上学推進事業…………… (170万円)
 郡上考現学市民講座事業…………… (60万円)
 生涯学習振興事業…………… (778万円)
 文化振興事業…………… (708万円)
 公民館活動経費…………… (4,822万円)
 郡上市史編纂事業…………… (247万円)

(ハ) スポーツを通じて交流の機会を広げます

スポーツ強化種目育成事業…………… (48万円)
 スポーツ大会開催事業…………… (40万円)
 少年スポーツ推進事業…………… (1,404万円)
 スポーツ推進委員活動事業…………… (532万円)
 体育協会支援事業…………… (801万円)

(ニ) 生涯学習の充実を図り、地域を担う人材育成の機会を広げます

図書等整備事業…………… (1,305万円)
 青少年育成活動推進事業…………… (440万円)
 公民館施設整備事業…………… (3,144万円)
 生涯学習振興事業…………… (161万円)

5. 自治・まちづくり(市民と行政の協働により自律するまち)

(イ) 市民と行政の協働によるまちづくりの仕組みを整

えます

地域振興調査調整費…………… (300万円)
 市民協働センター事業…………… (660万円)
 住民自治推進事業…………… (84万円)
 過疎地域自立促進事業…………… (1,212万円)
 地域おこし協力隊派遣事業…………… (700万円)
 自治会組織等活性化事業…………… (100万円)
 集落総点検・夢ビジョン策定モデル事業 (255万円)
 市民協働推進事業…………… (300万円)

(ロ) すべての市民が尊重される地域社会をめざします

婚活イベント企画運営事業…………… (60万円)
 ふれあい交流事業…………… (272万円)
 国際交流推進事業…………… (87万円)
 人権啓発活動事業…………… (67万円)
 社会教育団体育成事業…………… (90万円)

(ハ) 交流・連携によるまちづくりを推進します

移住・交流による地域活性化支援事業…………… (200万円)
 交流・移住推進事業…………… (620万円)
 都市交流推進事業…………… (40万円)

(ニ) 市民にとって身近な市役所をめざします

合併10周年記念事業…………… (112万円)
 振興事務所窓口業務実施事業…………… (366万円)
 戸籍住民基本台帳システム更新等経費…………… (851万円)

(ホ) 市民に分かりやすい開かれた市政を進めます

広報特別号作成事業…………… (159万円)
 広報活動経費…………… (875万円)
 ホームページ管理経費…………… (56万円)

(ヘ) 成果を重視する効率的な行財政運営を進めます

ふるさと寄附金事務経費…………… (53万円)
 庁舎等整備事業…………… (1億1,972万円)
 行政改革推進事業…………… (28万円)

6. 地域振興(個性あふれる地域づくりを推進するまち)

地域振興推進事業…………… (1,960万円)

7. その他の経費

一般職・特別職給(定員適正化計画の着実な取り組みにより13人の削減を行うことなどにより、削減額は一般会計で5,115万円となりました)

…………… (42億4,328万円)
 議員報酬…………… (1億2,911万円)
 臨時職員共済費他…………… (9,313万円)
 事務経費…………… (8億2,519万円)
 施設管理運営経費…………… (21億7,760万円)
 特別会計繰出金…………… (36億9,785万円)

公債費(公債費負担適正化計画に基づく、地方債の借入額抑制や繰上償還により、対前年度比で2億3,929万円の減となりました。平成25年度末の市債残高見込みは426億1,485万円となり、臨時財政対策債の残高が5億4,775万円増額となる中、その他の通常債残高は18億8,060万円減少し、全体で13億3,285万円の減額となる見込みです)

…………… (55億905万円)

その他(学校給食賄経費・災害復旧費など)

…………… (11億7,384万円)

平成25年度 主な事業

1. 産業・雇用（地域資源を活かして産業を育てるまち）

(イ) 自然と共生した農・林・畜産・水産を育てます

- 原木安定供給体制整備事業……………(27万円)
- 森林・林業人材育成事業……………(108万円)
- 県単土地改良事業(八幡:上原用水、大和:タルマル用水、白鳥:白鳥用水、高鷲:上野農道5号、美並:西母野用水、明宝:洞野用水、和良:大井用水、白鳥:阿多岐小水力発電)……………(3,980万円)
- 新規就農総合支援事業……………(1,200万円)
- 地場農産物拡販奨励事業……………(183万円)
- 森林整備地域活動支援交付金事業……………(3,676万円)
- 有害鳥獣捕獲奨励金事業……………(1,540万円)
- ニホンジカ捕獲事業……………(875万円)
- 道整備交付金事業(白鳥:干田野～石徹白線)……………(3,000万円)

(ロ) 人・もの・情報の集まる商工業を育てます

- 林業・林産業振興特別対策事業……………(2億4,194万円)
- 雇用奨励金交付事業……………(1,146万円)
- 企業誘致促進事業……………(440万円)
- 中小企業振興検討事業……………(41万円)
- 食の王国づくり事業……………(544万円)
- 小口融資貸付事業……………(4,005万円)

(ハ) 地産地消を推進します

- 木の駅プロジェクト出荷者育成事業……………(100万円)
- 未利用材の搬出促進事業……………(180万円)
- 学校給食地産地消推進事業……………(86万円)

(ニ) 地域産業の核となる観光・交流産業を育てます

- 八幡城再建80周年記念事業……………(250万円)
- 郡上おどりin青山20周年記念事業……………(294万円)
- 外国人観光客誘致事業……………(96万円)
- 観光協会活動事業……………(5,400万円)
- イベント開催事業……………(3,472万円)

(ホ) 雇用の場・機会を創出します

- ものづくり推進事業……………(568万円)
- 商工会活動事業……………(3,934万円)
- 構造改革支援事業……………(3,290万円)

2. 環境・防災・社会基盤（美しい水と緑をまもり、暮らしの基盤が整う共生のまち）

(イ) 自然環境を守り、快適な住環境の実現をめざします

- 自然環境保護対策事業……………(246万円)
- 郡上市景観百景プロジェクト事業……………(106万円)
- 公営住宅等ストック総合改善事業……………(822万円)
- 住宅維持補修事業(市営・市有住宅)……………(3,310万円)
- 里山整備モデル地区事業……………(259万円)

(ロ) 廃棄物対策を推進し、循環型社会を実現します

- エコプラザ整備事業……………(6,735万円)
- 県営地域用水環境整備事業……………(3,500万円)

- 一般廃棄物収集費……………(1億7,482万円)
- 郡上クリーンセンター大規模修繕事業……………(1億6,000万円)
- 環境衛生センター大規模修繕事業……………(4,588万円)
- 住宅用太陽光発電システム設置補助事業……………(360万円)
- 小水力発電研究事業……………(20万円)

(ハ) 暮らしの中の安全・安心を守ります

- 消防団活動費……………(4,457万円)
- 消防団員退職報償経費……………(4,586万円)
- 消防施設整備事業……………(1億4,658万円)
- 災害対策事業費……………(2,423万円)
- 生活安全対策事業……………(685万円)

(ニ) 利便性と安全・安心の基盤整備を進めます

- 社会資本整備総合交付金事業(八幡:生屋区内1号線他1、大和:西河線西河橋、高鷲:やまびこ線二声橋、美並:深戸梅原線他1、明宝:奥長尾線和合橋)……………(6億1,700万円)
- 合併特例道路整備事業(八幡:小野区内線、白鳥:上野五号線他2、高鷲:うぐいす1号線、美並:相戸本線他4)……………(2億7,490万円)
- 過疎対策道路整備事業(明宝:日洞線他5、和良:方須乙原線他8)……………(3億8,050万円)
- 辺地対策道路整備事業(八幡:黒佐区内3号線、大和:繁久線他3、白鳥:白鳥中西線他2、高鷲:切立線)……………(1億8,360万円)
- 道整備交付金事業(大和:正神路線、白鳥:大林線、高鷲:やまびこ線他2)……………(7,400万円)
- 道路新設改良事業(白鳥:小向大平線、高鷲:上野西洞線他1、美並:野倉線)……………(1億5,630万円)
- 河川自然災害防止事業(八幡:勝谷、美並:井戸上谷他1)……………(6,950万円)
- 沿道林修景整備事業……………(750万円)

(ホ) 公共交通網を整えます

- バス運行経費……………(6,375万円)
- 地方交通対策経費……………(6,196万円)
- 長良川鉄道支援対策事業……………(1,542万円)
- 長良川鉄道近代化整備事業……………(4,112万円)
- 地域公共交通確保維持改善事業……………(922万円)
- 地域公共交通施設整備事業……………(270万円)

(ヘ) 情報基盤を整備・活用し、暮らしの可能性を広げます

- 消防デジタル無線整備事業……………(1億2,889万円)
- 情報機器更新事業……………(5,302万円)
- 防災無線整備事業……………(3,890万円)
- 防災行政無線設備更新事業……………(516万円)

3. 健康・福祉（支えあい助け合う安心のまち）

(イ) 安心して子どもを産み、育てることのできるよう支援を充実します

- 高校生等医療費助成事業(市)……………(3,320万円)
- がんばれ子育て応援事業……………(600万円)
- 木育教材導入支援事業……………(212万円)
- 小中学生医療費助成事業(市)……………(8,135万円)
- 乳幼児医療費助成事業(県)……………(6,535万円)
- 児童手当給付事業……………(6億6,348万円)